

2026年
7月号

大野城市
北コミ

そら 宙まどか通信 vol.112

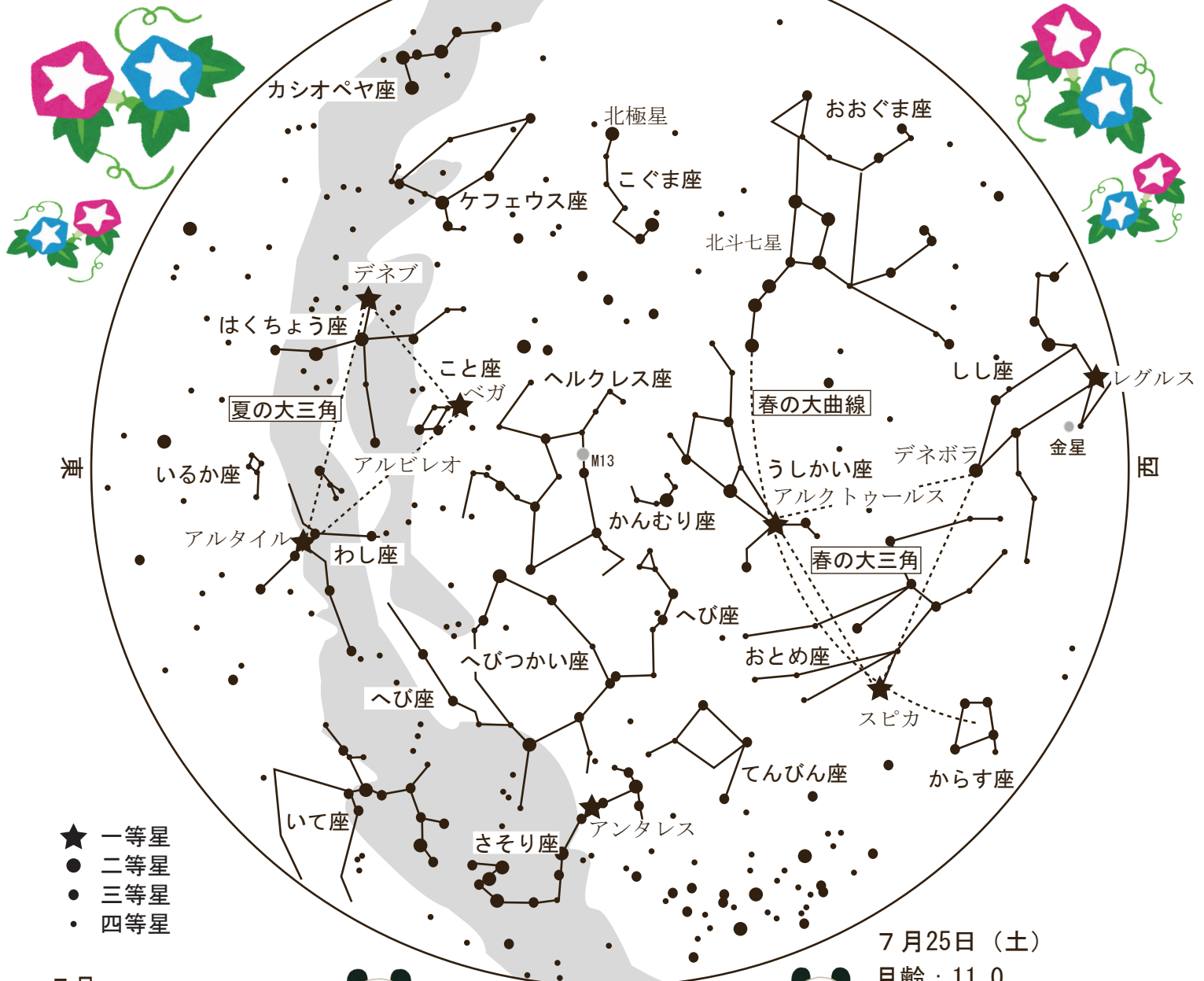
空を見上げて、
どの星座の星が輝いているのか
探してみよう。

7月11日（土）

月齢：26.3

月の出：午前1時25分

月の入：午後4時26分



7月
1日 午後10時の星図
15日 午後9時の星図



南



7月25日（土）

月齢：11.0

月の出：午後4時20分

月の入：午前1時9分

大野城市 北コミュニティセンター

〒816-0912 福岡県大野城市御笠川一丁目17-1

TEL: 092-513-0099

FAX: 092-504-5102

休館日：毎月第3火曜日（休館日が祝日の場合はその翌日）
年末年始（12月28日から翌年1月4日まで）

開館時間：午前9時～午後9時

今月のイベント

7月7日(火)

午後7時～午後8時50分

「七夕」《特別観望会》

七夕で短冊にお願い事を書こう！七夕おはなし会 & クイズも用意しています！

織姫星と彦星を望遠鏡で覗いてみませんか？



7月11日(土)

午後7時～午後8時50分

「ギラギラのベガ」

“夏のダイヤモンド”とも呼ばれる、こと座の1等星ベガ。望遠鏡で見るととてもギラギラしてるんです！



7月25日(土)

午後7時～午後8時50分

「アンタレスと月」

さそり座の心臓あたりには、真っ赤に輝く1等星、アンタレスがあります。この日はちょうどアンタレス付近に月が見えますよ～！



各種SNS・北コミHP
はこちらから⇒



7月天文カレンダー

7日(火) 七夕

地球が遠日点通過

小暑(太陽黄経105°)

8日(水) 下弦 ①

月と土星が近い(深夜)

9日(木) 金星とレグルスが大接近

14日(火) 新月 ●

17日(金) 細い月と金星が近い

20日(月) 夏の土用(太陽黄経117°)

21日(火) 上弦 ②

23日(木) 大暑(太陽黄経120°)

29日(水) 満月 ○

(バックムーン)

31日(金) やぎ座α流星群が極大

(出現期間: 7/11～8/26)

みずがめ座δ南流星群が極大

(出現期間: 7/16～8/21)

～フキ「宙まどか通信」情報～

『七夕と伝統的七夕』

カレンダーやニュースなどで“^{でんとうきたなばた}伝統的七夕”という言葉^{ことば}を聞いたことはありませんか？
^{たなばた}七夕と^{でんとうきたなばた}伝統的七夕、^{ちが}どう違うのでしょうか！



もともと七夕は“^{たなばた}旧暦(昔のカレンダー)”の7月7日に行われていました。しかし、^{げんざいつか}現在使われているカレンダーは“^{しんれき}新暦”。^{きゅうれき}旧暦と^{しんれき}新暦では日^ひに^{にち}ち^{おこな}にズレがあります。なんと1か月^{げつ}以上ずれることも！



そのため、^{げんざい}現在のカレンダーでの7月7日を“七夕”、もともと行われていた^{おこな}旧暦での7月7日を“^{でんとうきたなばた}伝統的七夕”と使い分けているそうです！



ちなみに・・・2026年の七夕はもちろん7月7日ですが、^{でんとうきたなばた}伝統的七夕は8月19日。
^{しんれき}新暦での七夕は昔の七夕とずれているので梅雨の時期ですが、^{でんとうきたなばた}伝統的七夕は昔の七夕と同じ^{じき}時期なので梅雨が明け、^{あま}天の川^みがしっかり見える時期なんです。

ぜひ、^{でんとうきたなばた}伝統的七夕も空を見上げて、昔の人々が眺めていた七夕を体験してみてください！